

埼玉県民のみなさんへのアピール

私たちは、「平和で公正な社会を実現し、明るい未来をつくりましょう！」をスローガンに、第43回埼玉県消費者大会を開催しました。

今、私たちのくらしの不安は大きく広がっています。「構造改革」による格差の広がりとともに、定率減税の廃止をはじめとした各種控除の縮小・廃止、所得税や住民税の大幅な負担増、国民健康保険や介護保険料の引き上げなどが家計を直撃しています。また、年金の未納や無年金者、国民健康保険料の未納や滞納者が増大しています。全ての国民が安心して暮らせるためにも、年金制度の充実と利用しやすい医療や介護制度の確立が大切です。あわせて、児童手当の充実や保育所の増設などにより、安心して子育てできる環境づくりも求められています。

食品においては、新たな農薬等残留基準制度による違反事例の摘発など前進面がある一方、食肉偽装、消費・賞味期限の不正など、食の安全をないがしろにする事例も多発しており、引き続き、行政に対して「食の安全・安心」を要望していくことが大切です。また、食料自給率の向上も重要な課題です。

私たちは顧客の支払能力を無視したクレジット被害をなくすための割賦販売法の改正に取り組みます。消費者被害をなくしていく社会システムづくりに向かってさらに運動を進めていくことが大切です。

今年の広島市長の平和宣言で、「膨大な量の核兵器が備蓄・配備され、核拡散も加速するなど、人類は今なお滅亡の危機にひんして」と警告を發しました。また、世界の科学者たちは、「温暖化はすでに、世界中の自然と社会に影響を与えている」と警告するなど、核兵器廃絶と地球温暖化防止は世界的な大きなテーマになっています。

平和で安心して暮らせる公正な社会の実現のために、くらしの中の問題を学び、声を出し、力を合わせて次の世代に引きつぐことを大切にしていきたいと思います。

2007年10月12日 第43回埼玉県消費者大会